

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年11月17日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---|
| 事業所番号 | 4670103730 |
| 法人名 | 有限会社 友星メディカル |
| 事業所名 | グループホーム笹貫の家 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市小松原1丁目1番2号 (電話) 099-368-3637 |
| 自己評価作成日 | 令和2年10月25日 |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.wam.go.jp/ |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |
| 所在地 | 鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号 |
| 訪問調査日 | 令和2年11月13日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「あなたが、今できることを大切に」「いつまでも美味しく食事ができて」「笑顔の絶えないグループホームに」を基本理念として、利用者様や家族様にとってあっとホームで温かく居心地良いグループホームになれるよう取り組んでいます。今年はコロナ禍の影響で、外出する機会が減っていますが、例年は季節ごとや定期的に外出して買い物や外食する機会を作ったり、町内会が主催する夏祭り等のイベントに参加や、9月頃に同じ町内にある他高齢者福祉事業所様と協働で企画開催する交流会に参加し、地域交流も盛んに取り組み好評いただいています。日々の暮らしの中で、その利用者様にできる家事や役割を担っていただき、利用者様同士がお互いに思いやり支え合いながらの暮らしをしていただけるような支援を心がけています。今年はコロナ禍で、家族様等の面会も心苦しくも制限せざる得ない状況ですが、例年は家族様や友人の方々、気兼ねなく来訪していただいています。ほどよい街中にあり、徒歩3～5分圏内に市電やバス停があり、公共交通状況が便利な場所です。近くにお店やレストラン等、郵便局や銀行、徒歩5分圏内にある公園など、地域資源も充実している場所にあるグループホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの近隣には銀行や郵便局、レストランや多くの商店、公園等があり、交通も便利な市街地に位置している。感染症予防で活動が限られているが、町内会に加入して総会や清掃活動、夏祭り、運動会などへ参加している。地域内の他の施設と合同開催の地域交流会への参加や認知症カフェなどで、小学生も含めた住民との親睦のほか、相談への対応や認知症の理解促進など地域と積極的に交流している。また、ホームの運営推進会議や避難訓練にも地域住民の参加が得られている。

利用者が家庭のように笑顔で気持ちよく楽しく過ごせるかに管理者及び職員の間心が払われ、情報共有して話し合い、利用者の立場に立った支援になるよう努めている。家族の意向にも十分配慮し、食事の充実や趣味の支援、多くの工夫が感じられるレクリエーション等も企画しながら利用者の言葉やしぐさ・行動に注意を払い、思いや気持ちに寄り添う支援に管理者と職員が一体となって取り組んでいる。家族には利用者の様子をDVDや写真に編集してホーム便りといっしょに送っている。

管理者自身が職員の思いや意見の把握を大切に、日常の声かけも工夫して相談や意見、提案を出しやすい雰囲気作りをしている。研修の充実と職員の能力向上のために、職員に交代で資料作成と講師役を割り振り勉強会も行っている。また、必要時の個別面談も含め職員とよく話し合いながら業務改善を進め、利用者がゆったりと楽しく、穏やかに過ごせるような環境づくり、また、職員が働きやすい就業環境作りなどに取り組んでいる。職員同士のチームワークも良好であ

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 毎朝の朝礼で理念唱和をし、理念を意識づけながら、全員で理念共有して日々のケア実践につなげられている。職員ミーティング時に定期的に理念の見直しを話し合っている。 | 理念および目標に沿って、利用者が地域や家族とつながり個々のペースで笑顔で過ごせるよう利用者の希望や気持ちに寄り添いながら支援している。事務所やホールに掲示して朝礼で唱和し、職員ミーティング等で日常のケアと比較しながら振り返り意義の理解を深めている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 今年はコロナ禍の影響で、町内会主催のイベント等に参加できていないが、町内会に入っており、例年は夏祭りをはじめ町内会主催や町内に所属する当事業所も含めた高齢者施設主催の交流会に参加している。毎月の防犯パトロールや地域清掃にも参加している。 | 現状は感染症予防で清掃活動や防犯パトロール以外は休止しているものが多いが、町内会に加入して総会や夏祭り、運動会、それに他施設と合同の地域交流会などに参加している。行事の際のボランティアや実習生受入れ、地域の方々の相談への対応、認知症カフェの開催など地域の方々とふれあう機会が多い。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている | 運営推進会議の機会を利用して、地域参加者向けに、認知症の勉強会を開催したり、毎年秋の「小松原1丁目交流会」を町内に所属する当事業所も含めた高齢者福祉施設が開催し、地域との交流する機会を通して理解や支援の方法を発信できている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 概ね2ヶ月に1度奇数月に開催する運営推進会議で、当事業所の取り組みや運営状況を報告し、地域や地域包括支援センター職員から意見を頂き、サービス向上に反映している。今年はコロナ禍の為、資料のみお渡しして情報共有を図っている。 | 現状は感染症予防のため会議資料の配布のみだが、従来は家族や地域住民、民生委員、地域あんしんセンターの職員等が参加して開催している。ホームや利用者の現況や行事・事故・ヒヤリハットなどの報告のほか、意見交換や地域の情報交換、認知症理解の勉強会等が行われ、得られた助言や提案を職員が共有してサービス向上や業務の改善に役立っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 必要に応じて、市の介護保険課担当者や各福祉事務所担当者に事業所の状況やケア内容等を伝えつつ、相互に協力関係を築けられるよう取り組んでいる。特に各福祉事務所とはこまめに連絡相談を図っている。 | 福祉事務所やあんしんセンターの職員との協力体制の構築や介護相談員の受入は行っている。市担当者とは入退所や認定更新の手続き等の際に、ホームや利用者の現況なども伝え助言や対応を得てサービスに活かしている。研修会等にも出席して意見や情報の交換も行っている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 毎月の職員ミーティング時に、身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束に該当するような事例がなかったかを話し合い、また年間で定期的に身体拘束についての内部研修を開催している。 | 研修計画に沿って高齢者の権利擁護や虐待防止、身体拘束等の勉強会を実施して職員の理解を深め、より良い支援となるよう努めている。職員ミーティング時に委員会も行い、言葉による行動制限をはじめとした事例発生がなかったかなど話し合い、また、日々のケアでも職員相互に繰り返し確認している。日中は玄関の施錠はせず、利用者が外出しそうな様子がある場合には職員は連携して見守りながら寄り添うようにしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 毎月の職員ミーティング時に、高齢者虐待について話し合う機会を設け、該当するような事例がなかったかを議論している。また年間で定期的に勉強会を行い、事例も交えて高齢者虐待について理解して学ぶ機会を設けている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 職員ミーティング時に利用者の権利擁護に関する制度について学ぶ機会を作り、今後に向けて円滑に活用できるように支援している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時や解約時、改定等の時は懇切丁寧を旨に、本人様や家族様の不安が無いように対話中心に十分な説明を行い、利用者様や家族様の理解や納得を図れている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日頃から気軽にご意見等申し付けいただけるように、管理者や職員からお尋ねし、頂いたご意見等を運営に反映できるように努め取り組んでいる。 | 契約時から利用者や家族に不安が生じないように接し、日頃は頻繁に声かけもして利用者の気持ちに寄り添い思いの把握に努めている。家族とは現状は面会制限があるが、従来は電話や来所時、運営推進会議、家族懇談会時などに気軽に話せるように接して多くの意見を得ている。日々のケア時や職員ミーティング、業務日誌等で全職員が共有して対応を話し合い、家族にも電話やホーム便りで報告しながらサービス反映に努めている。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月の職員ミーティングの機会や日頃から職員からの意見や提案を聞く機会を設けている。反映できる意見内容の時は管理者が代表者に相談申し入れし、稟議を通して運営に反映させている。 | 管理者は日頃より頻繁に声かけして職員個々の状況把握や話しやすい雰囲気づくりに努めている。日常のケアや朝礼、毎月の職員ミーティング、必要時には個別面談を行い意見や提案を聴き取っている。研修等を通じて職員の育成も図り、提供するサービス向上や働きやすい職場環境作りに努めている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者は、管理者や各職員の状況を把握して理解し、福利厚生や定期的な研修等を行い、各自が向上心を持ち働くことができるように、職場環境の整備等に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>管理者や職員がスキルアップできるように、定期的に研修会の案内をしたり、資格取得の為の後方支援を行うことなど、向上心を持って働ける職場環境等の整備に努めている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>毎月の管理者会議で、他事業所の管理者が相互に意見交換等できる機会を設けている。今年はコロナ禍で少ない状況だが、例年は法人内外の研修案内があり、参加することで当該事業所職員と他事業所職員が交流する機会がある。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>サービス利用開始段階で、本人様の困り事や生活上の不安や要望等に傾聴し、職員で情報共有して本人様の安心につながる生活支援ができるような関係づくりに努めている。</p> | | |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p> | <p>サービス利用開始段階で、本人様が暮らしていく中での、家族様側視点での困り事や不安要望等を傾聴して、これからの生活支援について安心できる関係づくりに努めている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>サービス利用開始段階での必要性ある事や支援を職員で検討しながら、他のサービス利用も含めた柔軟な対応ができるよう努めている。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p> | <p>職員は「あなたが今できることを大切にし」との理念を日頃から意識して、本人主体で本人と職員は暮らしを共にする者同士との関係を築けている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 職員は本人と家族の関係性を理解して、相互の関係や絆がより良いものになれるように支援できるような関係づくりができています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 今年はコロナ禍の影響で、本人にとって大切にしてきた友人や馴染みある人の面会を制限しているが、例年は随時面会にお越しいただいたり、家族様に協力をもらい馴染みある所へ外出をしていただいている。 | 現状は制約も多いが、生活歴や暮らしぶりを反映し、本人希望の散歩や買い物・ドライブのほか、電話や手紙の取り次ぎ、ぬり絵等の趣味、現状で可能な家事など支援している。従来は家族や友人・知人の訪問時にはゆったりと過ごせるよう配慮、また、墓参りや帰宅、外食、外泊等を家族とも調整して支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 普段過ごしている利用者のテーブル席の配慮をはじめ、日常の家事参加やレク活動を通して、日常的に利用者同士がお互いに関わり支えあえるような環境を整えて、利用者同士の関係を支援している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用終了後も、その利用者家族様が訪問されたり、電話でご相談を受けており、これまでの関係性を大切にしながら良いお付き合いをさせていただき、必要に応じての相談支援に努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人様の暮らしの中で、希望や意向等についてお話を伺いながら随時把握できるよう努めており、ご家族様の希望や意見も伺えるように努めている。 | 職員は利用者と共に暮らす意識も持って日頃より接し、利用者の身体状況や暮らしぶり、生活歴や趣味、その時々々の思いや意向・不安などの把握に努めている。今できる・できないことも把握して利用者の立場で考え、必要時は家族とも対応を検討し、より良い支援になるよう取り組んでいる。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人様や家族様にこれまで過ごしてこられた生活歴や馴染みあったことをお聞きしたり、当事業所ご利用前にかかっていたサービス事業者様から経過等を伺い把握できるように努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | お一人おひとりの日々の様子を見守り、ケアカンファレンスや日常の中で職員間で情報共有して把握することに努めている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 現状に即した介護計画を作成する為に、本人様や家族様のご意向を伺い、今の課題やニーズを検討し、全体でのケアカンファレンスやモニタリングを行う中で、意見やアイデアを反映した介護計画ができるよう取り組んでいる。 | 利用者・家族の思いや意見を丁寧に聞き取り、主治医や看護師を含む関係者の意見も加えて担当者会議で話し合い、職員の意見やアイデア・気づきも反映させたわかりやすい介護計画を作成している。日々の様子や変化などは業務日誌や介護ケース記録等に具体的に記述し、毎月のケアカンファレンスやモニタリングで課題やケアのあり方など話し合い、計画の見直しや修正を適切に行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個々の利用者様の日々の様子やケア実践、気づき、結果等を個別記録して、職員間でケアカンファレンス等を活用して情報共有し、介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人様の心情や心身状態、生活状況の変化に合わせて、既存サービスに捉われず、柔軟な支援やサービス多機能化に取り組んでいる。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域にあるお店や様々なサービスを把握して、地域の中で暮らしが楽しめるような支援に努めている。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人様や家族様の希望等を大切に、かかりつけ医や医療と良好な関係性を築きながら、本人様にとって適切に医療が受けられるよう支援している。 | 利用前の受診経過は把握し、家族や医師と連携して本人・家族が希望するかかりつけ医の受診を適切に支援している。歯科医の訪問診療もあり、専門医の受診状況も含めて職員や家族で共有されている。訪問看護師とも連携して健康管理に努め、協力医療機関により緊急時にも適切な医療が受けられる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>医療連携をしている訪問看護事業所の看護師を中心に、本人様の心身状態や気づきを報告相談し、助言や意見を受けて適切な受診支援をしたり、看護が受けられるよう努めている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>今年はコロナ禍で、入院先での面会等が制限されているが、病院関係者ともまめに連携を図り、その時の心身状態を把握して、早期退院につながりホーム帰居ができるよう働きかけている。協力病院を中心に、日頃からそうした場合に備え関係づくりを努めている。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化や終末期の在り方についての指針を整備し、個々の利用者様や家族様と話し合いを重ね、事業所としてできること等をしっかり説明し納得理解を得てチームで支援できるよう取り組んでいる。</p> | <p>重度化や看取りに対する指針で契約時に利用者と家族に説明し同意を得ている。様々な変化の都度、家族や利用者が納得できるように十分に話し合い、その意向を最大限大切にしている。また、医師や看護師と十分連携して、緊急時にはチームで、看取りも含めてその状態に応じた必要な支援を実施できる体制を整えるなど、家族との信頼関係の構築に取り組んでいる。マニュアル整備のほか関連する研修も実施している。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>利用者様の急変時や事故発生時に備え、職員ミーティング時等を活用して、応急手当や初期対応の研修を実施し実践力を身に付けている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>定期的に火災や非常災害時想定での避難訓練を実施し、避難方法を中心に学ぶ機会を設けている。地域の協力については、運営推進会議を活用して、そのような場合の避難先や避難方法をはじめ、地域からの協力が得られるように働きかけている。</p> | <p>年2回のうち1回は消防署の協力を得て夜間想定も含めた消火・通報・避難訓練を行っている。設備点検業者及び運営推進会議委員である地域住民にも参加してもらい意見や助言を得ている。毎月の職員ミーティングでも災害時の避難方法を話し合っている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置・点検や食料・飲料水の備蓄も問題はない。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 全職員は言葉かけや接遇の重要性や大切さを意識して従事しており、お一人おひとりの人格やこれまで生きてこられた過程を尊重し、プライバシーに配慮できるような対応を心がけている。 | 利用者の生活歴や習慣の把握の基で適切な言葉かけや対応の大切さを十分に理解し、日々の暮らしの中で思いや気持ちを尊重した支援に努めている。マニュアル整備や接遇などの研修も実施して誇りやプライバシーを損ねない対応の意識付けを図り、利用者の記録保管や居室の保護にも十分に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日常生活の中で、本人様の今の思いや希望等を表せることができるきっかけ作りや、表せられるよう寄り添い見守り、自己決定ができるよう働きかけている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | お一人おひとりの生活ペースを理解して大切に、その日なるべく本人様本位に希望に沿って過ごしていただけるような支援に努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 本人様の身だしなみやオシャレ内容を本人様や家族様に伺い、支援できるよう努めている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 美味しく楽しく食事ができるような食事環境を整え、お一人おひとりの好みや力を把握して、準備や食事、片付けができるような支援に努めている。 | 美味しく食べてもらえるように、家族が差し入れの旬の食材も活用しながら利用者の好みも献立に反映させ、後片づけ等利用者のできることも一緒に行っている。季節の行事食や仕出し弁当、誕生日や敬老会等の特別食、家族との外食、手づくりおやつなど、利用者の楽しみにつなげる多くの工夫をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎食の食事や水分の摂取量を記録して職員間で把握し、個々に合わせた食事量や水分摂取量を提供している。献立も栄養バランス良く提供できるよう検討して提供支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に個別に合わせた口腔ケアを実施している。義歯の方は就寝前に消毒洗浄し、起床時は臭い除去のうがいをしていただいている。協力歯科医院に定期的に通院や往診で口腔内の管理をしてもらっている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄状況を毎日記録して職員で情報共有し、トイレですっきりできるように取り組んでいる。また排泄状況を見極めて、おむつ等が不必要であれば職員で検討して取り外せるよう努めている。 | 利用者の見守りや排泄チェック表を活用し、個々のリズムや内容を把握して羞恥心や不安の軽減のためタイミングの良い声掛けを工夫しながら可能な限りトイレに案内している。身体状況や意向も十分に把握に努め、それらに合わせた排泄用品等の使い分けや皮膚トラブルへの配慮などもプランに組み込み支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘の原因や心身に及ぼす影響を管理者や職員は理解し、繊維物を多く取り入れた献立の工夫や乳製品の提供等の工夫をしている。また日常的に軽体操等で身体を動かす運動をしていただくなど、個別に合わせた便秘予防に取り組んでいる。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴の支援は本人様の状況に合わせて支援できている。数種類の市販の入浴剤を使用して、入浴が楽しめて、リラックスできるよう配慮して支援している。 | 入浴は週2、3回が基本だが、時間帯・湯温などの希望やタイミングに沿って柔軟に支援している。利用者の健康状態や安全面、皮膚や爪のケア等にも配慮し、入浴剤の活用も含めてゆったりと楽しんでもらっている。入浴をためらう時には時間帯の変更など無理強いしないよう心掛けている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣に合わせて、短時間の昼寝や入浴後の休息を勧めている。春や秋は窓側で日光浴をソファでしていただいたり、散歩や適度な運動をしていただくことで、気持ち良い眠りにつながれている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用・用法用量を理解して情報共有できている。必要に応じて薬剤師に連絡を図り、服薬支援と状態変化の確認に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お一人おひとりの今できることや生活歴を見極めて、日常的に家事参加を日課役割として担っていただいたり、本人が希望する楽しみ事や気分転換等ができるよう支援している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 今年はコロナ禍の影響があり、希望に沿っての外出支援ができていないが、例年は本人様の要望等に沿って、家族様等の協力を得ながら、本人様が出かけたいところに出かけられるように支援している。 | 感染症予防で希望に添えないことも多いが、現状は利用者の健康状態や天候を見ながら、近隣公園の散歩や買い物、ドライブなどに出かけている。従来であれば、地域の行事や弁当も持参しての季節の花見、関連施設との交流など、季節に合わせた外出を数多く年間行事で企画して、可能な限り楽しく外出できるように工夫・支援している。家族の援助のもとで食事や外泊、墓参り、買い物なども勧められているが、これらも休止している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>本人がお金を持つこと使うことの大切さを理解共有し、希望や力に応じてお金を持っていたり、お店等で使えるような支援をしている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>今年はコロナ禍の影響もあり、特に電話を通して、本人様と家族や大切な人とこまめに連絡を図れるように支援している。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節に応じてエアコンにて過ごしやすいく空調管理をしている。適度な換気を行ったり、アロマスプレー等で不快な臭いの除去に努め、テレビ等の音量も不快にならないよう調整配慮している。季節に合わせた壁面作りを定期的に行い、季節感がわかるような工夫を行っている。</p> | <p>リビングや廊下はゆったりとして明るく、安全のために手すりも多くの場所に設置され、トイレや浴室には場所の表示もなされている。室温や湿度、換気調節、清潔感にも十分に配慮され、ソファやテーブル・椅子・仏壇などが配置され、利用者それぞれが好みの場所できつろげるようになっている。メダカの水槽も置かれ、壁には季節感のある手作りの作品や行事の写真等も掲示されて落ち着いた過ごせる環境になっている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>窓側にソファを2台設置してくつろげるスペース作りや、利用者同士で気兼ねなく過ごせるようなテーブル席の配慮に努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入居時から馴染みある家具寝具や物品等を持ち込んでもらい、家族写真をはじめとした飾り付け等、本人や家族が居心地良く過ごせる居室作りをしていただけるよう働きかけ努めている。</p> | <p>居室は家族の協力も得ながら、利用者の馴染みの小物や寝具、家具、家族の写真などが置かれ、穏やかな気持ちで落ち着いて過ごせるよう工夫されている。ホームからはエアコンやベッド、洗面台、タンスが置かれ、入り口には利用者が迷わないように表札が設置してある。</p> | | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>安全面では廊下を中心として必要な場所に手すり設置して、安全な動作ができるようにしている。各居室前に個別の表札を設置したり、トイレ前は「お便所」お風呂前には「湯」の暖簾を下げるなど、目で見てわかり、できる暮らしの支援に努めている。</p> | | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |

| | | | |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |